



大城 勝 議員

# 特別支援教育支援員の配置に考慮を

答 支援員の確保は優先課題として取り組んでいる

**問** 特別支援教育支援員配置事業とはどういう事業か。

**教育長** 肢体不自由や多動性などの障がいを持った児童や生徒が町内の小中学校に通学している。その一人一人の教育を保障して、安全に学校生活を送ることができるよう特別支援教育支援員を配置して支援を行う事業である。

**問** 特別支援教育支援員の配置においては、予算面、採用の待遇の面から特段の措置がとられてもおかしくないという考えがどうか。

**教育部長** 支援員の確保は優先課題として取り組んでいる。待遇面も含め検討している。

**問** 本町の教育支援システムの目指すところは、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みの中で、「応答する教育」あるいは「おもいやりの心で行う教育」だと考える。教育現場では子どもたちには「おもいやりの心」が育まれ、支援を受け

る子どもたちとの間にどのような接し方をしているか。

**教育部長** 小中学校現場において誰でも区別なく教育を受けられるよう取り組んでいる。

各学校に派遣されている支援員の人数と経費

	名称	人数	経費
H29年度	幼稚園	13人	1,255万円
	小学校	29人	4,120万円
	中学校	6人	882万円

ひとり親支援への施策は

**問** 町社協の事業にひとり親家庭福祉に関する事業はどのような事業か。

**民生部長** ひとり親家庭の就労支援事業で、パソコンによるエクセル、ワードの研修である。

**問** 就労事業に過去何人の町民が参加したか。

**副町長** 年に2回実施して、過去5年間で75人が参加している。

山川交差点横断歩道の白線帯の再表示を

**問** 本町の山川交差点の横断歩道の白線が消えかかっている。再表示できないか。

**副町長** 与那原警察署へ要請をした。

**経済建設部長** 与那原署から県警本部に上申したと聞いている。